

## 平成 25 年度第 1 回奈良市スポーツ推進審議会会議録

|  |   |   |
|--|---|---|
| 開催日時   | 平成 25 年 10 月 8 日（火） 午前 10 時から   |   |
| 開催場所   | 奈良市役所 北棟 6 階 第 2 3 会議室  |   |
| 議 題  | 1 会長、副会長の選出について<br>2 平成 26 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について<br>3 その他<br>・奈良市スポーツ推進計画の実施状況について                        |   |
| 出席者  | 委員  | 高橋会長、上山副会長、加藤委員、谷口委員、辻井委員<br>坪井委員、中尾委員、成瀬委員、野阪委員、藤原委員、宮本委員<br>【計 11 人出席】<br>(塚本委員、中野委員は、欠席) |
|  | 事務局   | 今西部長、萩原次長、松田課長、西川補佐、秋田係長、土田係長、岡本、谷  |
| 開催形態   | 公開（傍聴人 0 人）   |   |
| 決定事項   | 会長に高橋委員、副会長に上山委員とした。<br>「平成 26 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」は、「妥当適正」と認められた。                                      |   |
| 担当課  | 市民活動部 スポーツ振興課   |   |
| 議事の内容  |   |   |
| 1 会長、副会長の選出について<br>委員の互選により、会長に高橋委員が選出された。また、副会長に上山委員が選出された。 |   |   |
| 2 平成 26 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について 【資料 1】                     |   |   |
| 3 その他<br>・奈良市スポーツ推進計画の進捗状況について 【資料 2】<br>【資料 3】              |   |   |
| 事務局<br>(土田係長)  | 開催に先立ち、出席状況の報告。<br>委員 13 名の内、11 名の委員が出席。<br>奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第 7 条第 1 項の規定により過半数を超えていますので、会議が成立したことを報告いたします。 |   |
| 今西市民活動部長   | 挨拶  |   |
| 事務局<br>(土田係長)  | 議事進行<br>奈良市スポーツ推進審議会会議運営要領第 2 条に基づいてこの会議を公開とします（傍聴人は 0）。<br>委員の紹介。  |   |

|   |   |
|---|---|
| <p>事務局<br/>(土田係長)<br/>高橋会長<br/>上山副会長<br/>高橋会長</p> | <p>会長の選出。<br/>奈良市スポーツ審議会に関する条例第 5 条により会長選出は委員の互選となっています。会長選出を要請いたします。<br/>委員の互選により、高橋委員が会長に上山委員が副会長に選出。<br/>奈良市スポーツ審議会に関する条例第 5 条 2 項規定により、高橋会長に進行を依頼いたします。<br/>挨拶<br/>挨拶<br/>本日の会議録署名委員の選出について、会長から、辻井委員と藤原委員の二名を指名。両委員に決定。<br/>議 事</p>  |
| <p>事務局<br/>(松田課長)</p>                             | <p>「平成 26 年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」を議題とします。<br/>事務局に説明を求めます。<br/>平成 26 年度スポーツ団体に対する補助金について説明します。<br/>奈良市体育協会運営補助金の交付及び執行に関する要領、並びに奈良市スポーツ大会の開催補助金の交付及び執行に関する要領に基づき、9 月に各団体へのヒヤリングを行いました。<br/>奈良市の財政事情のもと補助金については、時代の変化も勘案し慣例や先例に囚われることなく抜本的な見直しを図るため、各団体の活動状況や補助の必要性を確認するとともに、提出された要望書・事業計画・収支予算書等を精査し平成 26 年度の要求額を見積もりしました。<br/>今年度ヒヤリングをした中で、自主財源を確保できる団体は補助金の要望をしておられません。</p> |
| <p>高橋会長</p>                                       | <p>補助金の交付については、スポーツ基本法第 35 条により審議会の意見を聞かないとならないと定められています。<br/>審議をお願いします。<br/>ただいまの説明に関して、質問はないですか。<br/>最後の 44 番（奈良市ホッケー協会）の要求額が 0 になっています。これはどういうことですか。</p>   |
| <p>事務局<br/>(松田課長)</p>                             | <p>姉妹都市交流の補助金なのですが、毎年開催の事業と数年おき開催の事業があります。ホッケー協会については、来年度は交流事業を行いません。<br/>また、慶州市のホッケー協会がなくなり、交流事業は今年度はなしになりました。今年度予算の 70 万円も執行はされておられません。<br/>今後、交流事業が再開される見通しがないので、ホッケーの姉妹都市交流はなくなっていくと予測されます。<br/>姉妹都市の交流については、他団体も何年も交流を続けており一定の成果を得たということで、奈良市としては今後の交流活動は各団体の自主財源で続けてほしいとお願いしているところです。</p>   |

加藤委員

9月から実施したヒヤリングにより補助金の必要の度合い・自主財源を確保できるのかを勘案して平成26年度の要求額を決定したとのことですが、昨年度と比較して大幅な減額です。

大会は実施しないから要求額が0の団体、実施を継続するが減額をされた団体があります。また、大幅な減額をされた団体もあります。

不必要な補助金を奈良市の財政に考慮して削減に努めたのか、2020年のオリンピックに関する市の対応のために費用を捻出したいから既存の補助金をカットしたのか、どちらが目的なのですか？

また、

不必要な補助金交付を審査により是正したと解釈すればよいのですか、新しい施策（スポーツ産業支援グループの活躍など）のための財源確保のためのヒヤリング実施なのですか。

以上、ご説明いただきたいです。

事務局

加藤委員のご質問にお答えさせていただきます。

(松田課長)

来年度要求額が0の団体は、ヒヤリングにより自主財源が豊かで補助金なしでも事業をやっていけることがわかりました。そのため、来年度の補助金申請をしておられません。

例年と同じ要求額の団体は、自主財源の確保が非常に難しい団体です。新しい財源の確保に向けての取り組みをお願いしていますが、平成26年度中に財源確保するのは非常に困難であるということで補助金額を決定しました。

要求減額の団体は、自主財源の確保はできており今後その活動を拡大したら充実した内容の事業をできると予測したため補助金の減額をお願いしました。

奈良市の財政事情が非常に厳しいので、従来通りの補助金を十分に出せる状況ではありません。各々の団体への補助金は少額であっての総合計は非常に高額となります。

新しいスポーツ振興の観点からできるだけ自主財源の確保に努め補助金の見直しを図っていきたいと考えています。

特に姉妹都市交流事業は、長期間続いていた事業であるため同じ人物が何度も同じ都市を訪れています。この事業に永遠に補助金を出し続けるのかどうかということで検討を進めています。今後は、スポーツ振興の在り方を、新しい事業の展開・補助金の問題も含めて見直して行きたいということをご理解いただきたいです。

9月よりヒヤリングの中で精査をしているところです。

加藤委員

ありがとうございました。

9月からヒヤリングを積極的にして、絞込みをした結果が資料1の表であるということは非常に評価します。

ただ、現在決められた枠の中での活動であるから活動しやすい状況だったのではないのでしょうか。新たな自主財源を確保するためには条例での

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
|                                   | <p>裏付けが必要な面があるのではないですか。スポーツ振興課の方で条例を作るというのは大変な仕事であると思います。</p> <p>奈良市からの財源をカットするために全力を尽くすのではなくて、新たな財源確保をするための法的な裏付けをご検討いただくよう要望したいです。</p> <p>他はよろしいですか。</p> <p>他にご質問・ご意見がないようなので採決に入ります。</p> <p>本件に関する当審議会の意見としては、スポーツ団体に対する補助金の交付は妥当であると認めることについてご異議はないですか。</p> <p>(異議なし声)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、スポーツ団体に対する補助金の交付は妥当・適正であると認めます。</p> <p>議論にもありましたように奈良市の財政状況が逼迫している、あるいは要望額 0 の団体があるが活動していないという訳ではなく、自主財源を基にしながら活動を続けて行っているところもあるということです。</p> <p>「その他」について事務局から報告があります。</p> <p>事務局、説明をお願いします。</p> |
| <p>高橋会長</p>                       | <p>失礼いたします。</p> <p>スポーツ推進計画が平成 25 年度から 10 年間の計画でスタートしています。初年度にあたる今年度の進捗状況について 3 つ説明したいと思います。</p> <p>1 つずつ区切って委員の皆様方からご意見をいただきたいのでよろしくをお願いします。</p> <p>1 つ目、本年 7 月 1 日にスポーツ振興課内に『スポーツ産業支援グループ』が設置されました。これまでの主な業務は、地域密着型トップスポーツの支援です。スポーツによるまちづくりに向け業務内容の検討を進めています。資料は【資料 2】です。ご意見をお願いします。</p>   |
| <p>事務局<br/>(松田課長)</p>             | <p>では、【資料 2】をご覧ください、なにかご質問・ご意見はないですか。</p> <p>奈良市スポーツ推進計画の基本方針 1 は、市民のスポーツ活動の推進です。基本方針 2 にスポーツ産業の振興とあり、これに基づいて、スポーツ振興課の中にスポーツ産業支援グループが設置されました。</p>   |
| <p>高橋会長</p> <p>事務局<br/>(松田課長)</p> | <p>スポーツ産業支援グループは、活動を 7 月から始めたばかりで奈良市のスポーツの支援を行っています。</p> <p>特に、バンビシャス奈良 (バスケットのプロチーム)・bj リーグについては 9 月 22 日に中央体育館でデビューしました。この日 1000 人以上の観客を集めました。今後、中央体育館・橿原体育館・郡山体育館の 3 つの体育館を使って、奈良をホームタウンとして活動します。奈良市も活動を支援し、このチームが、奈良市奈良県に定着するように努めていきます。</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
|               | <p>また、奈良クラブ（サッカー）は J3 を目指しています。先日、J リーグの準加盟の申請を奈良市も共にして承認を受けたところです。</p> <p>今後、J3 に昇格するためにはいくつかのハードルがあり、その一つが鴻ノ池陸上競技場の整備です。J リーグの公式試合をするためには左右に 3 メートルずつの拡張が必要です。投てきピット等があるので移設も含めてサッカーの J リーグが開催できるように考えています。</p> <p>来年度はスポーツツーリズム、奈良市の観光とスポーツを合わせて奈良市の経済効果を高めていきながらまちづくりを進めていきたいです。</p> <p>スポーツ産業ということなので、スポーツによって経済効果を生み、奈良市のまちづくりにもつながる事業を展開していくために委員の皆様のご意見をいただき、それを参考に進めていきたいです。</p> <p>奈良市の活性化につながっていくということは、大事なことであると思います。先日、奈良クラブがビラや招待券を配ったりしていました。サインやチラシを求めて人が集まりました。奈良市の中に、そうしたチームができるということは非常に良いことだと思います。チームのメンバーには奈良市出身者もいるとのこと。是非とも活性のために我々も力を貸して行きたいです。</p> <p>また、バンビシヤスが教室を開催したとの話も聞いています。オフの時には、子供たちの技術指導・ゲーム指導をしていただけたらよりよくなっていくのではないのでしょうか。</p> <p>一方で、先ほど加藤委員のご指摘の通り、他の我々が今までいただいていた補助金が減っているのではないかと不安もあるのではないかと思います。その不安を消していけるような活動をしていただきたいと思います。</p> |
| 中尾委員          |   |
| 高橋会長          | <p>ありがとうございました。</p> <p>【資料 2】に体育施設駐車場有料化検討とありますが、現状では鴻ノ池運動公園は無料です。それを有料化する検討が始まったという理解でよいのですか。</p>  |
| 事務局<br>(松田課長) | <p>この体育施設駐車場有料化検討することについては、まだ具体的には進んでいません。将来的な構想として体育施設の充実を図る財源を確保したいというのが、我々の思いです。利用者も市民のニーズにあった体育施設の充実を要望されています。そのための新しい財源の確保も考えて行かなければなりません。その一つとして体育施設の利用者に協力いただき駐車場を有料化してその料金を施設の整備に回せないかと検討段階に入ったところで、まだ具体的に何年度から実施するかも決まっています。</p> <p>ネーミングライツについても、よく言われています。橿原公苑の橿原球場が「佐藤薬品スタジアム」ということで、佐藤薬品さんがネーミングライツを出されています。それ以外の体育施設のネーミングライツについてはなかなか難しいです。奈良県スポーツ振興課とも話し合いをし、</p>   |

|               |   |
|---------------|---|
| 高橋会長          | <p>奈良県・奈良市ともに体育施設のネーミングライツを進めていくということを考えていますが、具体的に企業が見つからないというのも現実です。</p> <p>何か良い知恵があったら教えていただき、私どもも努力をしたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、2つめの項目ということで『奈良市スポーツ推進計画ラウンドテーブル』について課長の方から説明をお願いします。</p>  |
| 事務局<br>(松田課長) | <p>2つ目の説明をいたします。</p> <p>スポーツ推進計画のそれぞれの実践的な取り組みにつなげていくことを目的として、地域競技団体を超えてスタッフや指導者が気軽に意見交換を行える場として、11月にラウンドテーブルを設置いたします。</p> <p>本審議会からの問題提起を踏まえ、意見交換を行い、必要に応じて計画に基づき個別のプロジェクトを設定していきたいと考えています。</p> <p>ラウンドテーブルのメンバー構成は【資料3】に示した通り、多様な分野・組織より構成したいと思います。委員の皆様の意見をお願いします。</p> |
| 高橋会長          | <p>ありがとうございます。</p> <p>【資料3】また奈良市スポーツ推進計画の裏表紙の図を見ながら、意見をいただきたいです。</p> <p>部門として、健康スポーツ部門・アダプテッド部門・競技スポーツ部門・スポーツ産業部門の4つがありますが、これもスポーツ推進計画の構成に従って部門分けがなされています。</p>  |
| 事務局<br>(松田課長) | <p>【資料3】ラウンドテーブル(案)ですが、一応20名として設定していますが、柔軟に対応したいと思います。この他の分野からも入っていただくなど、いろいろな形でメンバー構成の検討を進めたいです。</p> <p>11月に開催するメンバー構成は、こちらから各分野の委員を指名し、ラウンドテーブルを立ち上げたいです。</p> <p>推進計画初年度なので、今後進めていく主なプロジェクトは審議会の意見が重要になってきます。ラウンドテーブルの中で審議会の意見を反映させて具体的に進めていきたいです。</p>                  |
| 高橋会長          | <p>【資料3】以外に、メンバーにすべきと思う方という意見があればお願いします。</p> <p>今日初めて資料を読んで、いきなり意見をと言われても困るかもしれませんが。</p>  |
| 藤原委員          | <p>企業のところ(ラウンドテーブルの表)なのですが、他の割り振りの具体的な説明をお願いします。</p>  |
| 事務局<br>(松田課長) | <p>まだ具体的には、どの企業にお願いするかを決めていません。</p> <p>もし、ご推薦いただける企業・メーカーがあればお願いをしていきたいです。事務局の方で原案を持っております。</p>   |
| 藤原委員          | <p>奈良県内の企業・メーカーには、ラウンドテーブルのことは衆知されて</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>事務局<br/>(松田課長)<br/>高橋会長</p>               | <p>いますか。<br/>この案を示したのは本日が初めてです。ホームページ等には公開しているが、企業・メーカーには連絡しておりません。<br/>スポーツ推進計画は、奈良市民に実施したアンケート調査を基に作成しました。<br/>地域のスポーツクラブと同じくらいの割合で、民間のフィットネスクラブに通う人がいます。<br/>『スポーツでまちづくり』には、スポーツ産業も有効に活用しなければというのが個人的な意見です。</p>   |
| <p>成瀬委員<br/><br/>高橋会長<br/>宮本委員</p>           | <p>基本方針に、『子育て世帯も子どもを連れてスポーツができる環境』とあるので、お子さんをお持ちの主婦の方もラウンドテーブルに入れたらどうですか。宮本委員の意見も聞きたいです。<br/>では宮本委員、お願いします。<br/>ラウンドテーブル（スポーツ推進計画のリーフレットの裏表紙）に、小学校・中学校・高校は、記載されていますが、幼稚園の記載はありません。幼稚園の子どもたちはスポーツに係る機会は少ないかもしれませんが、幼少のうちから興味を持ってスポーツに係れるものがあつたらよいのではないのでしょうか。</p>   |
| <p>中尾委員<br/><br/>高橋会長</p>                    | <p>スポーツ少年団本部は、今までは小学生以上を対象に活動してきました。<br/>今後は幼稚園児や保護者が連れてくる未就園児も対象にしてスポーツをする取り組みを検討しています。奈良市としてもスポーツ少年団としても年齢を下げての活動を考える必要があります。<br/>ありがとうございます。<br/>『基本方針1・市民スポーツの推進』の中にも、スポーツ好きの子どもを育成するためという項目もあります。ご指摘の通り、幼稚園からのスポーツ活動というのは非常に重要です。</p>   |
| <p>事務局<br/>(松田課長)<br/><br/>高橋会長<br/>谷口委員</p> | <p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。<br/>色々な立場の方がスポーツを楽しめるということは、スポーツ施設を充実させていくということにつながります。働いている方・子育て中の方もスポーツを楽しめる環境作りをしていきたいと思えます。<br/>特に夜間の施設利用なども促進しながら、いただいた意見を参考にしながら環境作りを進めていきたいです。<br/>ありがとうございます。<br/>スポーツ活動をする場合には、『どこの種目団体に登録』ということがよく言われます。<br/>中尾委員が言われたように親子で色々な方がスポーツ体験をするという活動を奈良市で行うのなら、新しい登録制を作るのはどうでしょうか。<br/>どの種目も体験できるような親子での登録を作ります。各団体にも協力してもらい、登録者については団体員でなくても親子で様々な種目を体</p> |

|               |   |
|---------------|---|
| 高橋会長          | <p>験できる、また夜間の施設利用に参加できる形をとります。</p> <p>安全面の観点からも、事故の際の保険加入のため登録制は必要です。</p> <p>体育協会としては登録制を利用して、多くの方にスポーツを楽しんでいただき奈良市民へのスポーツの普及としたいと思います。</p> <p>あくまでも希望であるがよろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ラウンドテーブルのことにについて他に意見はないですか。</p> <p>議論の中で、健康スポーツのところに子供のスポーツというのがあります。</p> <p>そこに幼児体育に係る人を入れることも含めて検討をお願いします。</p> <p>宮本委員、幼児に対するスポーツ指導などに関する活動はすでに展開しているのですか？</p> |
| 宮本委員          | <p>各園では、そのような活動は展開していません。</p> <p>外部の先生を招いたり、専門家に来てもらったりしています。</p>   |
| 高橋会長          | <p>ありがとうございます。</p> <p>他、よろしいですか。</p>  |
| 坪井委員          | <p>スポーツ人口の底辺をどう拡大していくのか。それは、指導者の確保が一番の問題です。指導者を確保できたら、施設や時間のことは問題でなくなり、好きになった競技を辞めなくなります。</p> <p>指導者の育成・育成システムが非常に大切なこととなります。</p> <p>中学校の部活動が段々衰退していく理由の一つは、指導者の部分が大きいです。競技を中学校 3 年間で完結するようなことをしようと思っはいませんが、生徒と一緒に指導しながら中学校を卒業させるということは非常に大切です。</p> <p>幼稚園もそうですが、どのように指導していくかということで状況はかなり変化します。</p>   |
| 高橋会長          | <p>指導者となる人材育成を考えることが大切です。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>指導者育成についてもラウンドテーブルで議論をしてプロジェクトを立ち上げ、具体的な提案に結び付けたいと思います。</p> <p>他、よろしいですか。</p> <p>では、三つ目の項目の説明をお願いします。</p>   |
| 事務局<br>(松田課長) | <p>スポーツ活動を支えるもっとも基本的な基盤は、スポーツのできる施設です。先ほどから委員の皆様から、意見をいただきました。</p> <p>スポーツ活動のできる施設が不足している現状の中での問題点があります。</p> <p>計画的な整備・改修が必要とされていますが市民のニーズに合った施設の運営を心掛けて整備については新しい財源の確保についても検討しています。厳しい奈良市の財政事情の中での体育施設の整備は非常に難しい問題です。施設整備のことも含め、今後のスポーツ施設の運営のこと</p>  |



|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 高橋会長                              | <p>等、皆様に検討いただきたいです。</p> <p>スポーツ推進計画の『スポーツ推進に向けた施策』の中で『施設の充実』が上がっています。ご意見あれば、この機会に発言をお願いします。</p>   |
| 谷口委員                              | <p>奈良市の体育施設のレベルは全国的に見て低いです。施設を作るということは市町村の予算では難しいです。鴻ノ池陸上競技場なども県の大会で多く利用されているという事実もあることですし、県等の協力をもらいながら施設の充実をしていくのが望ましいです。</p>  |
| 高橋会長<br>事務局<br>(松田課長)             | <p>奈良県の施設は橿原にサッカー競技場と体育館はあるが、奈良市内にはないのが現状です。</p> <p>奈良市と奈良県が協力した施設が、例えばドリームランドの跡地等にできないものでしょうか。</p> <p>実現すれば、奈良市の施設も増え県民にも利用してもらえます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>先日も県のスポーツ振興課と話し合った。奈良県では、オール奈良県ということで体育施設の状況を考えているとのことでした。</p> <p>奈良県に全国大会等を誘致するためには、何が必要なのかということも話しました。県では調査費を計上して調査を進めているところであるとのことでした。</p> <p>奈良市の施設が、奈良県の施設の中では全国大会に使われることが非常に多いのですが、施設老朽化のため鴻ノ池周辺の施設だけでも耐震もできていない状況です。</p> <p>谷口委員の話されたように、県とも協力しながら県と市が協力して奈良県の体育施設の方向性を検討しています。</p> <p>すぐには無理ですが、奈良市にとっても非常に重要な施設ですので、委員の皆様の忌憚のない意見をお願いします。</p> |
| 高橋会長<br>中尾委員                      | <p>ありがとうございます。</p> <p>一番早く着手できるのは駐車場有料化と思います。</p> <p>駐車料金徴収のためには設備を作る必要がある、散在する駐車場をどう管理するのかなど話も聞いてはいます。</p>   |
| 高橋会長<br>野阪委員<br><br>事務局<br>(松田課長) | <p>徴収方法としては県内・県外、市内・市外とに分ける方法など考えられます。早急に具体案を検討していただきたいです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>全国的な規模の大会をするため、奈良市に不足している施設の一つはプールです。</p> <p>以前、県営プールがあったが現在はありません。奈良市が積極的に県から誘致する等の計画はあるのですか？</p> <p>現在、具体的な計画はないです。</p> <p>奈良市独自に施設の整備計画を立てる予定です。</p> <p>奈良市の財政事情も厳しく体育施設の維持・管理は非常に困難であるため、計画的に体育施設を整備していかねばなりません。</p>   |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>高橋会長<br/>事務局<br/>(松田課長)</p> | <p>全国大会を誘致したら、奈良市への経済効果も非常に高いと言われて<br/>います。誘致が可能となるような施設があれば、奈良市の経済も活性化<br/>し、スポーツの振興・まちづくりにつながります。</p> <p>そのような施設がない現状ですので、皆様のお知恵を賜りたいです。<br/>次の議題をお願いします。オリンピックについて説明をお願いします。<br/>2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。<br/>スポーツの魅力を再確認する絶好の機会と捉えております。地方都市奈<br/>良市としてもその役割を検討し、東京オリンピック・パラリンピックの<br/>成功と本市のスポーツ推進の新たな方向性を構築していきたいと思いま<br/>す。委員の皆様方の意見を参考に2020年のオリンピックの波に乗り遅れ<br/>ないように考えて行きたいです。</p> |
| <p>高橋会長<br/>谷口委員</p>           | <p>オリンピックのプレゼンテーションにより国民はスポーツの良さを再<br/>確認しました。奈良市民の多くもテレビを見てスポーツをしたい気持ち<br/>になっています。</p> <p>2020年には一人でも多くの奈良市出身の選手がオリンピックに出場で<br/>きるように支援していきたいと考えます。</p> <p>ご意見ををお願いします。</p>   |
| <p>高橋会長</p>                    | <p>2020年のオリンピック開催に向け、地方都市奈良が何かできないかと<br/>のことですが。</p> <p>下村文部科学大臣が、地方にスポーツ賞を設けるという方針を出しまし<br/>た。</p> <p>奈良市でオリンピックを盛り上げるのであれば、市民にスポーツを広<br/>め、参加を促すように、議会でもスポーツを振興・普及していこうとい<br/>う組織が必要です。</p>   |
| <p>事務局<br/>(松田課長)</p>          | <p>奈良市議会にスポーツを推進する組織を作って欲しいです。</p> <p>スポーツ基本法の中にも、スポーツ庁の設置について分析検討するとは<br/>挙げられています。奈良市においても、委員に政治的な力を上手く活用<br/>しながらスポーツを推進していけたらと思います。</p> <p>スポーツ審議会のメンバーには、前回までは市議会議員の方が入ってい<br/>ましたが、今回はおられませんね。何か理由でもあるのですか。</p>   |
| <p>高橋会長</p>                    | <p>臨時条例のためであるのご理解いただきたいと思います。</p> <p>議題報告事項は以上です。</p> <p>なにか他に議題はないですか。</p>   |
| <p>事務局<br/>(松田課長)</p>          | <p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本日のスポーツ推進計画に係るご意見につきましては、来月開催するラ<br/>ウンドテーブルに反映し、スポーツ推進計画を進めていきます。</p> <p>皆様方の今後のご意見は個々にいただいても構わないです。奈良市のス<br/>ポーツ振興につながるよう頑張っていきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>   |

|      |  |
|------|--|
| 高橋会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>他、よろしいですか。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席を賜りありがとうございました。貴重な意見を頂戴しありがとうございました。皆様からいただいた意見を施策に反映し今後一層のスポーツの振興に励んでまいります。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> |
| 資 料  | <p>【資料1】平成26年度スポーツ団体からの補助要望一覧表</p> <p>【資料2】スポーツ産業支援グループについて</p> <p>【資料3】奈良市スポーツ推進計画ラウンドテーブル（案）<br/>奈良市スポーツ推進計画 概要版</p>   |